

総選挙・第2弾

自民党の正体
& (腰巾着の公明党)

2012年11月20日

広瀬隆

そもそも**安倍晋三**とは何者か？

過去を忘れてはいけない。彼が2007年に総理大臣の職をほうりだして病院に入ったのは、病のせいではない。巨額脱税の大スキャンダルを週刊現代  によって暴かれることが分ったので、仮病で病院に逃げ込んだ弱虫の代表だ。こんな頼りない男が総理大臣になったらどうする!!

その後、マスメディアがこの事実を一切追及しないのは、なぜなのか？

報道界は、今こそ報道しろ!!

2007年 の政変



安倍晋三「相続税3億円脱税」疑惑

2007年の政変とは・・・

講談社の週刊現代が、安倍事務所に相続税脱税のカラクリを指摘し、質問状を送りつけ、回答期限を9月12日午後2時に設定した。

するとタイムリミットの9月12日午後2時に安倍晋三が辞任表明の記者会見をして、病院に逃げ込んだ。

→その週末の土曜日、9月15日に週刊現代2007年9月29日号発売された↓。

亡き父・晋太郎の「遺産」6億円と「出資者不明」の巨額献金

Scoop
1

緊急ワイド

Emergency Wide

史上最低の「無責任な官邸」全真相

突如辞任を発表、翌日には緊急入院——「安倍首相をここまで追い込んだ」と、発売前から永田町、メディアを騒然とさせたのは、本誌のこのスクープだ。

本誌が
追い詰めた

「安倍晋三
相続税」
首相

3億
脱税疑
惑

発売前から
永田町は騒然

「なぜ参議院選挙大敗の責任を取らなかったのに、内閣改造のおわつたいま辞任するのか」
「インド洋の給油活動延長に職を賭す、といっていたのに逃げではないのか」
「所信表明をした直後で辞めるのは前代未聞」
9月12日午後2時より開かれた安倍晋三首相（52歳）

の記者会見では、本会議の直前までやる気を見せていた首相が突然、心変わりした理由は何か、納得のいかない記者たちから質問が相次いだ。しかし、最後まで首相は納得のいく説明ができなかった。

その同日、首相の辞任を知らせる毎日新聞夕刊は、その辞任理由を「今週末発売の一部週刊誌が安倍首相に関連するスキャンダルを報じる予定だったとの情報もある」と一面で報じた。

一部週刊誌とはいささか失礼な表現ではあるが、社会面にははっきり「週刊現代」と名前が出ている。そう、安倍首相を辞任に追い込んだスキャンダルとは、本誌が9月12日中に回答するように安倍事務所に質問をつきつけた「相続税3億円脱税疑惑」のことなのである。政治団体をつかさどった悪質な税金逃れの手口を詳細に突きつけられて首相は観念したというわけだ。

高瀬真実
ジャーナリスト
と本誌取材班

「安倍首相の父親である安倍晋太郎外相（当時）は総理総裁を目指して巨額の資金を用意していた。ところが開病の末の逝去でそれが宙に浮いてしまった。そのカネはいったどこへ行ってしまったのだろうか。晋三氏への相続に不透明なところがあるのではないか」
晋太郎が率いた安倍派時代を知る自民党のある古参秘書に、この話をぶつけたところ声をひそめていった。「91年5月に父親が亡くなったときは、まだ中選挙区制なので補選はなく、93年7月に総選挙で初当選するまで晋三さんは、秘書を解雇したり事務所も減らしたり、リストラに大変だった。『なかなか政治資金が集まらない』と金庫番の秘書がよく派閥の事務所に相談に来ていました。晋太郎氏の派閥を引き継いだ三塚派会長（当時）の三塚（博）さんが見るに見かねて、お世話になった晋太郎さんの三回忌を兼ねた励ます会を計画して、派閥ぐるみでパーティー券を売ったのです。それが、フタを開けたら晋三さんが集金力トップですからね。派閥の秘書仲間たちはみんなひっくり返りました」
そのパーティーとは、93年4月15日、首相の指定団体（当時）の「晋和会」が赤坂プリンスホテルで開い

辞任会見での安倍首相の目は潤んで虚ろだった……



このスクープ
で総理は職を
投げ出した！
最大の「政治とカネ」
スキャンダルは
総理の政治団体に

献金したかが不明になって
いる「消えた寄付金」が、
合計で1億8522万円も
あったのだ。2億円近い巨
額なカネはいったいどこに
消えてしまったのか。

国税幹部は 「脱税」と断言

繰り返しているが、これ
らの「消えた寄付金」を含
めると、首相は、亡父が政
治団体に寄付した6億円の
個人献金を政治団体ごとそ

っくり相続したことになる
のだ。

安倍首相は、これまで主
な相続資産は、山口県長門
市の実家と下関市の自宅の
みとしてきた。相続した'91
年以降の高額納税者名簿に
は首相の名前はない。

政治団体に投じられた6
億円の献金が、そのまま晋
三氏に渡っていれば、これ
は政治活動に名を借りた明
白な脱税行為ではないの
か。

財務省主税局の相続税担
当の幹部に、連結収支報告
書の数字を示しながら聞い
た。政治団体を通じた巨額
の資産相続に違法性はない
のか？

「政治団体に個人献金した
資金が使われずに相続され
れば、それは相続税法上の
課税対象資産に該当しま
す。政治団体がいくつもあ
る場合は、合算した資産残
高のうち献金された分が課
税対象になります。たとえ
首相でも、法律の適用は同
じです」

そう説明した幹部は、連
結収支報告書の数字を見比

べてきつぱり言った。
「この通りなら、これは脱
税ですね」

仮に、政治団体を通じて
相続した遺産が6億円とす
れば、当時の税制では1億
円以上の最高税率50%が適
用されて、相続税額は約3
億円になる計算だ。

もちろん、税法上は相続
税の脱税の時効は最大で7
年。首相が罪に問われるこ
とはない。しかし、これま
で1億円以上の脱税は、政
治家でも逮捕されてきた。
重大な犯罪であることに変
わりはない。

こうして、巨額の脱税を国会
で暴露されることをおそれて、
総理大臣のポストを投げ出し
た男、それが安倍晋三である。

小泉純一郎内閣官房副長官時代の安倍晋三とは...

2002年の有事法制実現を推進し、5月13日、早稲田大学の講演で「小型であれば原子爆弾の保有も問題ない」と発言。

「日本は核戦力を持つことだって許されている」と暴言。

京都大学教授・中西輝政

(これが安倍晋三のブレン)

総合雑誌VOICE2003年1月号に

政治評論家・福田和也らと共に、

日本核武装宣言を発表し、「北朝

鮮に核ミサイルを発射させないよ

うにするいちばんの方法は『日本

も核武装する』という宣言を、いち

早く総理がすることだ」と提唱。

2006年11月には、安倍晋三首相と文部科学大臣の伊吹文明が、子供の自主性を謳った教育基本法を強引に書き換えた。

今まで書かれていた、「個性ゆたかな文化の創造」、「個人の価値」、「自発的精神」という最も大事な言葉を、この二人が消しゴムで消してしまった。

愛国心
道徳

~~個性~~

代りに安倍と伊吹が書き加えたのが、「公共の精神」、「伝統」、「自律の精神」、「道徳心」、「国を愛する」、「規律」、「習慣」であつた。彼らが言う伝統や国とは、何か。

今や、原発の再稼働を看板に掲げている超危険人物が安倍晋三なのだ。

原発の放射能被曝は放置せよ、
電力資本を維持するためには、子
供たちの健康はどうでもよい、と。

無気味な石破茂、石原伸晃らが
揃った亡国政党・・・

またしても、公共事業ゼネコン政
治である暗黒時代を再現しようと、
張り切る。

2007年4月25日には、憲法解釈で禁じる集団的自衛権の行使を認めるメンバーを集めた首相の私的諮問機関「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会」を設置して、米軍との共同軍事行動を画策した危険人物が安倍晋三だ。これが、沖縄県民を苦しめているそもそもの原点だ。

安倍晋三が特に危険なのは、石原慎太郎と同様のファシストで、中国を敵視し、平和外交を嫌う点にある。日本経済は、これからますますアジアで孤立して、苦境に陥るだろう。企業人はそこをしっかりと読み抜く必要がある。

2007年7月29日の参院選で、37議席しか当選しない“歴史的な惨敗”を喫しながら総理大臣にとどまった男だ。その直後、冒頭に述べた脱税発覚だ。

この自民党の腰巾着となってきたのが、
「40年後に原発廃止」と、日本破滅に向
かって一路邁進の悪夢を語る**公明党**。